

授業科目 高齢期障害作業療法評価学

【担当教員名】 能村 友紀		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		○	
【概要・一般目標：GI0】					
1) 高齢者を取り巻く社会的問題の現状と背景を理解する 2) 高齢者の心身の特性・障害を理解する。 3) 高齢者に対する作業療法の動向を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 老化について説明できる 2. 老年期の生理・身体的特徴を説明できる 3. 老年期の精神・心理的特徴を説明できる 4. 老年性疾患、障害を説明できる 5. 作業療法計画に必要な高齢期障害に関する評価の手段を列挙、説明、実施できる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	老化と加齢に伴う社会変化			1	講義（能村）、担当：能村 友紀
2	加齢に伴う生理的機能変化と運動機能変化			2	講義（能村）、担当：能村 友紀
3	加齢に伴う精神心理面変化			3	講義（能村）、担当：能村 友紀
4	老年症候群とリスク管理			4	講義（能村）、担当：能村 友紀
5	高齢者の作業療法評価（1）観察・生活機能			5	講義（能村）、担当：能村 友紀
6	高齢者の作業療法評価（2）身体機能			5	講義（能村）、担当：能村 友紀
7	高齢者の作業療法評価（3）精神心理機能			5	講義（能村）、担当：能村 友紀
8	まとめ			1～5	講義（能村）、担当：能村 友紀
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		高齢期作業療法学 第2版	小川恵子編	医学書院	2010・3,990円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席が3分の2以上、かつ期末試験の点数が60点以上とする。			【履修上の留意点】		